

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人さくら福祉会
幼保連携型認定こども園
水喰保育園

主な活動報告

新型コロナウイルス感染症が国内で発生してから約3年、今その対応についての考え方が大きく変わろうとしている。就学前の子育て環境に与える影響は非常に大きかったと思われるが、またその環境に適応しようとする子どもの柔軟性の高さに驚かされる場面が多かったように思われる。これまでのコロナ禍での経験値をこれからの子育て支援に大いに活用できるよう取り組んでいきたい。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に多くの時間を費やししながら、日々の保育に重点的に取り組んだ。施設内での感染者発生のため、休園を実施した。保護者との連絡・連携を大切にし、子どもの健全な成長・発達のための様々な支援業務に職員一丸となり取り組んだ。

運動会・夏祭り・お遊戯会の節目の行事もコロナウイルスの影響を受け、三密を避けながら、子どもの意欲を最大限に引き出すために様々な工夫に取り組んだ。

子どもの成長に関しての見立ては非常に難しく、職員・保護者・専門機関との意見の交換は非常に大切である。意見の相違をどのように受け止め、理解しようと努力し、お互いが認めることができるための方策・システムをみなで考えた。

1. 基本方針

保育理念「子どもの幸福と子どもと関わるすべての人の幸福」を願いながら、保育方針「子どもを信じる、子どもの力を信じる、子どもの自ら学ぶ力を信じる」を旗印に、児童・保護者・職員・地域が相互的かつ協同的に関わり合い、子どもが主人公となるような生活の場・学びの場を提供できるような環境づくりを目指す。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

教育・保育課程や全体の計画を基本とし園目標の5領域についての子どもの学びや職員の学びを深めていきたいと考える。

全体の計画→保育教育課程→年間計画→月間計画→週間・日案計画のサイクルで子どもの育ちの見通しを立て、保育実践、評価・反省、次の見通しの工夫を実践した。職員会議等で子どもの見方について様々な意見の交換を行った。

〈2〉 保護者支援

保護者との信頼関係をつくり、よりよい子育て・子育ての実現を目指す。

保育者の負担軽減を図り、3歳児以上クラス連絡帳の自由記述ノートをなくした。

連絡帳を中心として、その日の出来事、気になること、行事等の相互の連絡に努めた。できるだけ保護者が前向きに子どもと接することができるような書き方に努めた。

今年度よりインスタグラムでの積極的な保育の発信を行った。

〈3〉 地域の子育て支援事業

町の健診に職員を派遣し、子どもの育ちや親の関わり方についての課題等を町職員等と共有する。

町が実施する子育て支援業務に派遣した。いくつかの健診はコロナ感染防止のため中止になった。子育てに携わる保護者の苦労や悩み等に対応し、子どもの発達に係る現状の把握等に努めた。

〈4〉 保育者育成

乳幼児の発達の道筋や連続性をとらえ、子ども一人一人のあそびを協同的に展開しながら、育ちの本質をくみ取ることができる保育者としての専門性を追求していく。

日々の保育について適宜話し合いがもたれた。季節の行事や三大大行事を通じて子どもの成長について保育者としての関りに最大限努めた。

児童票の作成を通じて発達の道筋等を客観的にとらえることに努めた。

昨年度に引き続き、今年度もコロナウイルス対策のため処遇改善に関わるキャリアアップ研修の参加を控えざるを得ない状況だった。その他の研修に関しても同様だった。ただ、オンラインでの研修が少しずつ増え、いくつかの研修に参加することができた。

〈5〉 子どもの育ち

教育・保育内容は今の時代を生きる子どもたちの社会背景や環境を見据えて、人を育てるという根本的な考え方を常に学び、実践できる保育者を育てる。

職員会議時に、毎月開催される職員会議において入所児童の課題等について話し合いをもった。家庭環境や保育状況の関連性について現場目線での専門性の追求に努めた。

〈6〉 環境整備

旧園舎敷地（第2園庭）の環境整備

保育に関する遊具や用具の整備・点検に努めた。園舎のトップライト及び国旗掲揚ポールの修繕を行った。正面玄関屋上の融雪線の修理も行った。

冬場に簡易式のピザ窯を作る。みんなでおいしくいただいた。

星組に制作物展示用のラックを購入した。

卒園制作では給食メニュー展示用ディスプレイと登降園カードケースを制作した。

2. 開園時間

午前7時～午後7時

3. 職員配置

職 種	員 数	常 勤	非常勤	備 考
園長	1	1		
副園長				
主幹保育教諭	1	1		
保育教諭	7	7		
栄養教諭				
調理員	3	1	2	非常勤：保育補助
事務職員	1	1	1	
バス技能員	1		1	

4. 運営方針

(1) 運営管理を円滑に行うために以下の会議を勤務時間内に開催します

会議名	頻度	主な内容
職員会議	月1回	児童処遇改善検討（個別ケース検討）、保育内容の充実を図る検討、園として取り組むべき課題、給食運営（乳児の離乳食進行検討、児童の喫食状況の確認）、

各種課題や問題等について話し合いがもたれた。

(2) 各種担当を設置し、職員全員が運営します

係名	職務内容・役割
交通安全	児童の交通安全教育に係る業務
避難訓練	児童の防災訓練にかかる業務
お誕生会	児童のお誕生会に係る業務
検食・会議録	給食の検食及び職員会議に係る業務
保育教材	保育教材の発注・管理に係る業務
保健衛生	児童保健衛生に係る消耗品および備品の管理、感染症に係る業務
視聴覚教材	お遊戯用 CD 等の発注・管理業務
遊具安全点検	遊具の安全点検に係る業務
厚生係	職員厚生に係る業務

各種係がそれぞれの業務を責任をもって遂行した。

(3) 年間行事（主なもの）

運動会：6月18日	お楽しみ保育：7月8日
夏祭り：7月29日	パクパク教室：なし
たいまつ祭り：なし	親子遠足：なし
園外保育：11月1日（浅虫水族館）	七五三の集い：11月16日
お遊戯会：12月17日	保育参観日：10月1日

卒園式：3月18日	お別れ会：3月23日
-----------	------------

〈4〉 給食・食育運営方針

- ・友達や身近な大人と親しみをもって、楽しく食べる
- ・日常の生活に密着した食育を深く考察し、実践する
- ・郷土の食材・調理方法に親しむ

日々の給食やおやつ、毎月のお誕生会食や行事食の充実に努めた。食育活動の一環として園敷地内の畑にて野菜の栽培に取り組んだ。児童はもちろん職員に与える影響は大きく作物を育てる様々な苦勞を子どもと大人が共有することで成長過程や発達過程をより大きな枠組みでとらえることができた。

様々な種類の大根や落花生の収穫体験も行った。

〈5〉 保健計画

園児健康診断・歯科検診	年2回
保健便り	随時
保育者健診	9月
保育者検便	毎月
園児への保健指導・取組	手洗いうがいの指導
流行が予想される感染症	・11～3月：インフルエンザ ・通年：溶連菌感染症

毎日の手洗い・うがいの励行に努めた。東北町内や近隣の感染症発生状況の発生状況の把握に努めた。昨年度にひき続き、今年度も園内にて感染症のお知らせメールはほとんど発信されなかった。コロナの感染防止対策としてのうがい手洗いが機能していた。

園内感染症発生状況（その他）

5. 危機管理

〈1〉 防災について

避難訓練計画、上級救急救命資格取得、自衛消防組織、

自主防衛組織を編成し、年2回以上の避難訓練を実施した。

〈2〉 けが事故防止について

事故防止策、安全点検等の実施

遊具等の自主点検を実施した。

〈3〉 防犯について

不審者対策訓練の実施、不審者情報等の収集・周知

不審者訓練を実施した。町等と不審者情報等交換を通年で行った。

6. 実習生・中高生の受け入れ

保育者育成と研修計画

今年度は保育実習1名を受け入れた。

7. 地域交流計画

地域に根差した保育の中で、積極的に地域に出かける

世代間交流、異年齢交流等

福田商店に七夕の飾りつけを行った。ハロウィーン時には小泉商店さんにお菓子を頂いた。

8. 小学校・中学校との連携計画

小学校、中学校の行事に参加し、交流を深める

東北町保小中連絡協議会をつうじて小学校や中学校との情報交換や交流を行った。